

令和元年度島根県普通会計決算 及び健全化判断比率等の概要

1. 普通会計決算

(1) 総括

歳入については、総額4,872億円で、対前年度比0.7%、32億円の増額となった。

中小企業制度融資貸付金元利収入が減少したが、国土強靱化対策の本格化による国庫支出金及び県債の増加により、全体として増加した。

歳出については、総額4,645億円で、対前年度比0.2%、11億円の増額となった。

貸付金や公債費の減少があったが、補助公共事業の増による普通建設事業が増加したことにより、全体として増加した。

(単位：百万円)

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
歳 入 総 額 ①	487,189	484,038	3,151	0.7%
歳 出 総 額 ②	464,501	463,360	1,141	0.2%
翌年度繰越財源 ③	13,209	12,750	459	3.6%
実 質 収 支 ④=①-②-③	9,479	7,928	1,551	19.6%

